

2016年 北海道生活教育研究会



第38回



の研究集会

後援 北海道教育委員会(申請中)



2016年1月 9日(土) 9:30~16:30

1月10日(日) 9:15~15:00

札幌市生涯学習センターちえりあ 2階 大研修室

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10

地下鉄東西線宮の沢駅地下直結通路徒歩5分



日時
&
場所

記念講演 1月9日(土)10:00~12:00

記念講演 「地域復興と学校教育の新たな連携を目指して」

徳水 博志氏

元小学校教員・日本生活教育連盟全国委員・文芸教育研究協議会会員・一般社団法人雄勝花物語共同代表
雄勝環境教育センター代表・東北工業大学非常勤講師

シンポジウム 1月9日(土)13:00~15:00

「地域に根ざした実践の展開と展望を探る」

パネリスト 徳水 博志 氏

山本 民 氏 (稚内市立南小学校 教諭)

高橋 公平 氏 (石狩市立厚田小学校 教諭)

コーディネーター 前田 賢次 氏 (北海道教育大学札幌校 准教授)

実践報告 1月9日(土)15:00~ 1月10日(日)12:00

「地域にあるものを学びにつなげる」 高橋 公平(石狩市立厚田小学校)

「Rinbow な係活動」 阪本 智 (小樽市立稲穂小学校)

この他にも実践レポートを持ち寄り、報告・討議します。

実践講座 1月10日(日)13:00~14:45

子どもの食の現状と課題 ~地域とからだを支える食の展望~

黒河 あおい (名寄市立大学栄養学科准教授)

参加費

2日間参加 2500円 1日参加 1500円 学生 1000円

北海道生活教育研究会とは…？

私たち北海道生活教育研究会（日本生活教育連盟北海道サークル）は、子どもの全面的な発達を求めて、子どもらを『学校・地域の主体者』と位置づけ、子どもに生きる力、学ぶ力を育てることを正面に据えた「生活教育」を探求してきました。

この冬の研究集会では、そうしたこれまでの優れた理論と実践の蓄積を、今日どのように生かし実践していくのかを学び合い深め合っていきたいと考えています。

記念講演 9日(土)10:00~12:00

記念講演 「地域復興と学校教育の新たな連携を目指して」

徳水 博志氏

元小学校教員・日本生活教育連盟全国委員・文芸教育研究協議会会員・一般社団法人雄勝花物語共同代表
雄勝環境教育センター代表・東北工業大学非常勤講師

2011年3月11日、東北地方を襲った地震と津波は、住民だけではなく、地域や学校そのものにも、大きな被害を与えました。

徳水さんは、「地域の再生なくして学校の再生なし」と考え、学校全体・地域全体で『復興教育』に取り組みます。

地域の漁業、特産品の雄勝硯を、地域の人たちから学び始める子ども達。そして被災し、心に深い傷を受けた子ども達のケアに、聞きあったり、表現したりする実践を絡めながら取り組んでいきます。

「子どもが未来を描くことで、恢復へとつながっていく」「雄勝の子どもたちには社会参加の学力が必要だ」。教職員集団でこの思いを共有しながら進めてきた雄勝小学校の教育実践から、私たちは『地域と学校』のありようについて学んでいきたいと考えています。

シンポジウム 1月9日(土)13:00~15:00

「地域に根ざした実践の展開と展望を探る」

パネリスト 徳水博志氏 山本民（稚内市立南小学校） 高橋公平（石狩市立厚田小学校）
コーディネーター 前田 賢次（北海道教育大学札幌校）

私たち北海道生活教育研究会では、「地域参画・地域参加の学力とは何か？」について、ここ数年、実践発表やシンポジウムなどを通して議論を深めてきました。そこでは、「地域に根ざした実践」の広がりや、子どもに獲得させたい認識、子どもたちが社会に関わる可能性について、問題を共有してきました。今回は、徳水先生と北海道サークルのメンバーによるシンポジウムを通して、この課題について語り合い、どのような実践を創っていくかを探っていきたいと考えています。

分科会 1月9日(金)15:30~10日(土)14:30

5・6年 総合的な学習の時間

「地域にあるものを学びにつなげる」 高橋 公平(石狩市立厚田小学校)

石狩市の北部、厚田での総合的な学習の実践です。子ども達のまわりに当たり前にある厚田という地域をどう取り上げ、学びにつなげていこうか考えてきた実践です。地域にできた風力発電の風車から学習をスタートしました。実践してきたことと、冬休み後の実践のまとめに向けての取り組みを発表します。

3年 学級づくり

「Rainbow な係活動」 阪本 智(小樽市立稲穂小学校)

Rainbow は、「一人ひとりがかがやくクラス」を目指す阪本先生の学級のスローガンです。学級の文化である係活動を通して、子どもたちに自主性や創造性、協力して取り組む姿勢を身につけることを目指した実践です。子ども達のあたたかくてユニークなアイデアと活動の様子をお伝えします。

この他にも実践レポートを持ち寄り、報告・討議します。

実践講座 1月10日(日)13:00~14:45

「子どもの食の現状と課題 ~地域とからだを支える食の展望~」

黒河 あおい(名寄市立大学栄養学科准教授)

黒河先生は、石狩管内で栄養教諭として活躍され、現在名寄市立大学の栄養学科で管理栄養士や栄養教諭を目指す学生さんに日々指導をされています。

食べ物は人間の体をつくる元となります。日々心身が成長している子どもたちには特に大切だということは、みなさんご存知の事と思います。また、食べ物を生産する農業や水産業は、北海道の基幹産業です。食べ物の事を考え学ぶことは、栄養・健康面だけではなく、農・水産業やそれと密接につながっている「地域」を学ぶことにもつながります。

食と栄養、地域を子ども達とどう考え・学んでいくのか、実践のヒントを黒河先生の講座から学んでいきたいと思ひます。

日程

(時)	9	10	11	12	13	14	15	16	17
9日	受付	開会 行事	記念講演	昼食	シンポジウム	実践報告			
10日	受付	実践報告		昼食	講座	閉会 会員総会			

参加申し込み・問い合わせ

◎研修会参加の方は、事前に下記のHP、メール、FAX、facebook ページ「北海道生活教育研究会」、または事務局員に連絡をしていただいた上で、当日会場のちえりあまでお越しください。

◎宿泊・食事は、事務局で斡旋はしていません。必要な方は、各自でご用意ください。

北海道生活教育研究会HP

<http://www.dabohaze.net/seikatsukyoku/>

高橋 公平（北海道生活教育研究会事務局長）

住所 〒002-8091 札幌市北区南あいの里7丁目20-19

自宅 TEL・FAX 011-788-7560

携帯 090-7650-9385

勤務先 石狩市立厚田小学校

メールは
こちらへ



松野 萌（北海道生活教育研究会事務局会計）

住所 〒065-0005 札幌市東区北5条東8丁目1-10 felice701号

自宅 TEL・FAX 011-704-6756

勤務先 札幌市立北九条小学校

開場略図

札幌市生涯学習センターちえりあ

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10

地下鉄東西線宮の沢駅地下直結通路徒歩5分

TEL 011-671-2200

駐車場は隣の西友の駐車場をお使いください

（駐車料金は別途必要です。）



2016年 北海道生活教育研究会 冬の研究集会参加申込書

2016年 北海道生活教育研究会 冬の研究集会

氏名 _____ 勤務先 _____

住所 (〒 _____) _____

TEL・FAX 【 _____ 】

メールアドレス 【 _____ 】

参加する日にちに○をお書きください		
1日参加	2日参加	学生
1500円	2500円	1000円
9日 10日		

フェイスブック（FB）でも情報を発信しています。FBからの連絡や情報を送ってもいいですか？

（ はい いいえ FBをしていない ）

（ 会員のみ 会費 有 ・ 無 ）